

(公社)神奈川県理学療法士会 災害対策委員会  
横浜北部ブロック災害対策キャラバンが開催されました。  
神奈川県理学療法士会災害対策委員会 松田 梓

去る平成29年2月19日(日) 済生会横浜市東部病院におきまして  
「平成28年度 横浜北部ブロック災害対策キャラバン」が開催されました。

災害対策キャラバンでは毎年、災害時のリハビリテーション支援ネットワークを構築していくことを目的に開催しており、今回はその第7回目として横浜北部ブロックの方を対象に開催いたしました。

災害対策キャラバンは「横浜北部ブロックの災害時における行政の支援体制とリハビリテーションとの連携について」というテーマで行われました。

講師には横浜市より吉元 景氏(横浜市医療局医療政策課)、御小柴 朋子氏(鶴見区役所福祉保健課健康づくり係)、玉井洋平氏(横浜新緑総合病院)を迎え、横浜北部における災害時の危機管理体制や医療支援体制など災害時を想定した平時からの取り組みや連携についてお話しいただきました。



吉元氏からは横浜市防災計画から災害時の医療体制や災害医薬品の備蓄方法について、また締結している協定や横浜市医療救護隊と保健活動グループとの連携についても具体的にお話しいただきました。

御小柴氏からは平時の地域保健活動や横浜市や各区の保健師の人員配置や組織体制について、横浜市の災害時保健活動についてお話しいただきました。また熊本地震における避難所での支援活動や在宅支援活動報告や今後の動向としてキーワードとなる保健師を中心とした公衆衛生支援チーム「災害時健康危機管理支援チーム(DHEAT: Disaster Health Emergency Assistance Team)」についてもご紹介いただきました。そして玉井氏より、市民として、理学療法士として災害があったらどうするか?をテーマに自身の災害支援経験から専門職として考えておくべき事、長期的な支援の重要性についてもお話しいただきました。



今回も30名を超える多くの方々にご参加いただき、本当にありがとうございました。横浜北部ブロックエリアコーディネーターの吉田 公一先生、会場の手配・調整を引き受けてくださいました済生会横浜市東部病院の方々、当日の運営を手伝っていただいたスタッフの皆さまも本当にありがとうございました。

今後も災害時のリハビリテーション支援ネットワークの基盤づくりとして各ブロック・地域ごとの行政機関や保健センターなどとの連携を深めていけるようにしていきたいと考えています。次年度も災害対策研修会や災害対策キャラバンを開催する予定です。より多くの方々のご参加をお願い致します。